

令和4年度 海 遊

(活 動 の 記 録)

第 23 号



令和4年度主催事業 スノーケリング自然教室・海のふれあい教室・三方五湖自然教室・スノーケリング指導者養成講座

「経験者におすすめ！三方海域公園スノーケリング 常神」 ・

「ハロウィンナイトミュージアム 夜の海の生きものを観察しよう」

「バードウォッチング冬 オジロワシとコハクチョウ」 ・

「スノーケリング指導者養成講座 スキルアップコース」

福井県海浜自然センター

目 次

I 福井県海浜自然センターの概要	1
II 展示事業	3
1 常設展・企画展 (1)常設展 (2)企画展	
2 入館者数 (1)月別入館者数 (2)年度別入館者数	
III 指導普及事業・指導者養成事業	11
1 インターネット等による情報発信	
2 自然体験講座の開催 (1)主催講座 (2)団体向け講座 (3)個人向け講座	
3 指導者の養成 (1)指導者養成講座	
IV 特別企画・ミニイベント	17
1 特別企画 (1)とびだせ！若狭の海湖（うみ）へ！(2)見つけよう！若狭の海湖（うみ）の宝もの	
2 ミニイベント (1)クリスマス (2)冬 (3)節分 (4)ひな祭り	
V 調査研究事業	21
1 食見地区周辺海域調査	
2 三方五湖周辺における自然保護活動	
3 ふゆみずたんぼに飛来したハクチョウ類の個体数調査	
4 若狭湾冬海ゴミ調査	
VI その他	22
1 運営会議の開催	
VII 資 料	23
1-1 団体向け講座 団体・講座一覧	
1-2 3Dシアターと館内見学 団体一覧	
1-3 出張講座 団体・講座一覧	
2 食見地区周辺海域調査	
3 三方五湖周辺における自然保護活動	
4 ふゆみずたんぼに飛来したハクチョウ類の個体数調査	
5 若狭湾冬海ゴミ調査	
6 夏期の車ナンバー調査	

I 福井県海浜自然センターの概要

福井県の嶺南地域沿岸は、リアス式海岸の美しい風景が広がる若狭湾国定公園となっております。なかでも、若狭町の常神半島から黒崎半島に囲まれた世久見湾は、特に海中景観が美しく、生物相も豊かなことから、昭和46年に本県唯一の海域公園（三方海域公園）として、4箇所30.2haが指定されました。（指定当時は海中公園でしたが、平成22年4月の自然公園法改正により海中公園は海域公園と改められました。）

福井県海浜自然センター（以下センター）と隣接公園施設を含む地域（若狭三方マリンパーク）は、これらの恵まれた自然環境と人が共生するやすらぎある県民生活の実現に向け、本県の豊かな海の自然を学び体験していただくための施設・公園として、平成11年7月20日（海の日）にオープンしました。

また、平成17年には、三方五湖がラムサール条約湿地に登録されたことにより、従来の若狭の海を中心とした展示に加え、三方五湖の自然環境や自然再生活動を紹介するなど、三方五湖のビジターセンターとしての役割を担ってきました。平成26年4月には「うみ（海湖）のビジターセンター」としてリニューアルオープンし、嶺南地域の自然環境保全の重要性を紹介するとともに、学ぶ普及啓発施設として皆様にご利用いただくことを目的に運営しています。



国道側から見た海浜自然センター



海側から見た海浜自然センター

【施設】

所在地	福井県三方上中郡若狭町世久見18-2（食見海岸）
建物	鉄筋コンクリート2階建
敷地面積	5,472m ²
延床面積	2,197.65m ²
駐車場	マリンパーク全体約270台（うち海浜自然センター専用41台）
整備費	①平成11年オープン 約17億5千万円 ②平成26年リニューアル 約3億8千万円

- 【1階】 エントランスホール、体験学習室1・2、屋外水槽、
スノーケル準備スペース、会議室、事務室、機械室 等
- 【2階】 三方五湖の自然展示スペース、若狭湾の自然展示スペース、
マリンホール、企画展示室、キッズルーム 等

【展 示】

若狭の海で見られる魚たちにエサを与えることができる「ふしぎな水そう」をはじめ、若狭湾の生き物水槽（19）、三方五湖の生き物や環境保全活動を紹介する水槽（15）、ドクターフィッシュ水槽（1）、全35の水槽でうみ（海湖）の生き物を紹介しています。

また、海の漂流物を紹介するビーチコーミングや若狭のうみ（海湖）に飛来する代表的な海ワシの剥製、バードカービング、空から見る若狭湾、その他（海の幸を獲る定置網、海の幸を送る鯖街道と籠の模型、バインダー解説、近隣施設と観光情報のご案内、魚眼レンズ体験）等の展示の他、3Dシアター（「若狭の海」、「若狭の風を感じて」）によって、うみ（海湖）への興味・関心を高め、理解を深めることができます。

【事 業】

センター周辺の海をフィールドとしたスノーケリングや磯の生き物観察、ラムサール条約登録湿地の三方五湖をフィールドとした野鳥観察や魚類の観察など、海や湖の自然とふれあいながら体験学習ができる各種講座を開催しています。

また、平成26年度のリニューアルオープン以来、家族や友人などと来館される方が、事前予約なしで自然体験講座を受講できる個人向け講座を開始しました。

（講座の詳細や参加者数は III 指導普及事業・指導者養成事業を参照）

Ⅱ 展示事業

1 常設展・企画展

(1) 常設展

【1階】

○ふしぎな水そう

容量約8トンの大型水槽に、若狭の海で見られる魚たちを展示しています。水槽面に開いているのに水があふれない小窓からは、魚たちにエサを与えることができます。

○若狭路のおいしい生きものたち

若狭湾では様々な方法でおいしい海の幸が漁獲されています。このエリアでは、若狭路特産の代表的な生き物を展示しています。

○福井の海にタッチしよう

福井県の形をしたタッチプールでは、若狭湾の磯の生き物たちに直接触れたり、エサを与えたりできます。

○ビーチコーミング

若狭湾に流れついた、珍しい漂着物を展示しています。漂着物を集める活動をとおして、自然環境を保全する意識の高揚を目指します。

○屋外水そう

館内への搬入が困難な大型生物を一時的に展示したり、季節に応じた海の生き物を展示したりしています。



ふしぎな水槽



福井の海にタッチしよう



ビーチコーミング

【2階】

○三方五湖とその周辺の生きものたち

ラムサール条約登録湿地に指定された三方五湖の生態系の特徴を、展示水槽とグラフィックで紹介しています。

①ラムサール登録と固有な魚

②田んぼや水路の生きもの

③三方湖の生きもの

④水月湖・菅湖の生きもの

⑤久々子湖の生きもの

⑥湖の生態系に重要な役割を果たすエビのなかま

⑦身近な水辺の生きもの

⑧湖の生態系を破壊する侵入者

○若狭湾の生きものたち

岸辺近くの身近な海にも、多様な姿形や生態をもつ生き物がすんでいます。若狭湾の多様な生き物を展示水槽とグラフィックで紹介しています。

- ①若狭湾を彩る小さな生き物
- ②生きるための適応
- ③若狭湾の危険な生きもの
- ④豊かな生態系を育む海草アマモ
- ⑤海中の浮遊者クラゲ
- ⑥オサガメの剥製

○海の幸を獲る定置網/海の幸を送る鯖街道

若狭湾で盛んな定置網漁と、京都に海産物などを届けた街道（鯖街道）について紹介しています。

○空から見る若狭湾

リアス式海岸に浮かぶ島々の解説から、若狭湾の地形について知ることが出来ます。

○野鳥の歓迎

エントランスホール上には、三方五湖周辺で見られる大きな野鳥(オオワシ・オジロワシ・ミサゴ・コウノトリ・コハクチョウ)の実物大飛翔模型が展示されています。

○三方五湖の生態系の頂点 海ワシ

三方五湖に越冬のために飛来する、日本最大の猛禽類であるオオワシとオジロワシの剥製を展示しています。その迫力は、一見の価値があります。

○マリンホール

三方海域公園の自然や若狭湾の景観を、立体ハイビジョン映像で紹介する3Dシアターです。美しい若狭湾の空中景観や海中景観、そこに生息する生き物のくらしを疑似体験できます。また幕間にはクラゲや若狭湾の映像が流れ、ゆったりとくつろげます。

○ドクターフィッシュ水そう/足湯コーナー

ドクターフィッシュ水そうで、自分の手をお掃除します。また、目の前に広がる世久見湾の大きな景色を眺めながら、足湯でくつろげます。

○キッズルーム

小さなお子様が、ぬり絵や折り紙を楽しんだり、海の自然に関する絵本などを閲覧したりできます。また、海のライブラリー奥には、授乳やおむつを替えられるベビールームもあります。

○その他

- ・魚眼レンズでお魚気分
魚が見る景色を疑似体験できます。
- ・情報掲示板
主催講座の紹介ポスターなどを掲示しています。



三方五湖とその周辺の生きもの



若狭湾の生きものたち



足湯コーナー

(2) 企画展

期間	企画名	内容
3月 1日～ 4月 17日	若狭高等学校海洋科学科研究発表展	海洋科学科の生徒が取り組んだ研究発表をまとめたパネル展
		
5月 11日～ 5月 19日	愛鳥週間 ポスターコンクール 入賞作品展	愛鳥週間ポスターコンクールで入賞した作品の展示
		
6月 1日～ 7月 18日	未来のために！若狭湾の漂着物パネル展	令和3年度に行った若狭湾における漂着物調査の結果をパネルで展示
		

7月28日～8月31日	若狭湾の海の生きもの写真展	スノーケリングリーダーが撮影した 若狭湾の生きものの写真展
		
9月17日～10月10日	昔の水辺の風景絵画展	若狭町、美浜町の児童が描いた水辺 の風景の絵画展
		
10月21日～11月30日	ほのぼのの絵画作品展	若狭町、小浜市の保育園園児による 作品展
		

期間	企画名	内容
11月27日～12月9日	中野光作品展「DIADROMMOUS Hatching—孵化—」	中野光氏による県内の魚を描いた作品展
		
12月1日～12月25日	カレンダーでふり返ろう 海浜自然センターの歩み	これまでのカレンダーとともに海浜自然センターの歩みを紹介
		
1月3日～2月28日	三方五湖 冬鳥写真展	日本野鳥の会福井県会員による三方五湖周辺の冬鳥の写真展
		

期間	企画名	内容
3月11日～3月21日	ゆるりふわりクラゲ展	アカクラゲ、ミズクラゲなど近海のクラゲやサカサクラゲなど計5種のクラゲ展示
		

2 入館者数

(1) 月別入館者数

※令和3年8月14日～8月24日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館

※令和3年11月～令和4年2月 空調設備改修工事のため閉館

月	令和3年度 入館者数 (人)	令和4年度 入館者数 (人)	対前年比 (%)	令和4年度 累計 (人)
4月	7,093	9,130	128.7%	9,130
5月	11,417	14,318	125.4%	23,448
6月	8,899	11,052	124.1%	34,500
7月	17,396	18,104	104.0%	52,604
8月	11,774	21,537	182.9%	74,141
9月	7,683	10,213	132.9%	84,354
10月	13,950	11,751	84.2%	96,105
11月	5,076	7,786	153.3%	103,891
12月	0	5,199	%	109,090
1月	0	4,653	%	113,743
2月	0	5,668	%	119,411
3月	10,381	9,773	94.1%	129,184
計	93,669	129,184	137.9%	

入館者数

129,184人

主催講座参加者数 (P9～12参照)

779人

出張講座参加者数 (P13参照)

1,377人

令和4年度総利用者数 131,340人

(令和元年度総利用者数 137,287人)

(1) 年度別入館者数

年 度	入館者数 (人)	対前年比 (%)	累計入館者数 (人)
平成 11 年度	65,293		65,293
平成 12 年度	97,705	149.6%	162,998
平成 13 年度	89,327	91.4%	252,325
平成 14 年度	86,080	96.4%	338,405
平成 15 年度	82,831	96.2%	421,236
平成 16 年度	80,494	97.2%	501,730
平成 17 年度	92,393	114.8%	594,123
平成 18 年度	83,997	90.9%	678,120
平成 19 年度	76,138	90.6%	754,258
平成 20 年度	75,653	99.4%	829,911
平成 21 年度	79,050	104.5%	908,961
平成 22 年度	74,313	94.0%	983,274
平成 23 年度	74,564	100.3%	1,057,838
平成 24 年度	63,480	85.1%	1,121,318
平成 25 年度※	41,013	64.6%	1,162,331
平成 26 年度	117,340	286.1%	1,279,671
平成 27 年度	122,329	104.3%	1,402,000
平成 28 年度	118,849	97.2%	1,520,849
平成 29 年度	118,105	99.4%	1,638,954
平成 30 年度	132,779	112.4%	1,771,733
令和元年度	129,064	97.2%	1,900,797
令和 2 年度	104,614	81.1%	2,005,411
令和 3 年度	93,669	89.5%	2,099,080
令和 4 年度	129,184	137.9%	2,228,264

※平成 25 年 10 月～平成 26 年 3 月 リニューアル工事のため閉館

※令和 2 年 4 月 4 日～5 月 18 日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館

※令和 3 年 8 月 14 日～8 月 24 日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館

※令和 3 年 11 月～令和 4 年 2 月 空調設備改修工事のため閉館